

# 環境負荷低減への取り組み

北海道の豊かな自然環境を将来にわたって維持し、次世代に引き継いでいくことは私たちに課せられた使命です。事業活動のあらゆる場面で、環境負荷低減の取り組みを進めています。



環境に対する基本的な考え方

## 環境理念

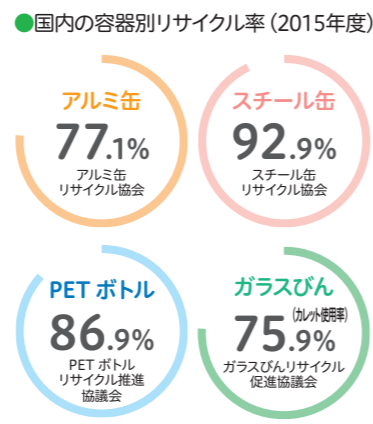
北海道コカ・コーラグループは、責任ある企業市民として、地球環境の保全に配慮した事業活動を行い、地域社会の豊かな環境の維持と社会の継続的な発展に貢献します。

## 環境行動指針

- 1、省エネルギー、省資源に努め、環境負荷を低減します。
- 2、事業活動に伴う廃棄物の削減と再資源化を促進するとともに、汚染の予防に努めます。
- 3、環境保全に対する全従業員の意識向上を図り、グループをあげて環境保全活動に取り組みます。
- 4、地域社会における環境保全活動への協力・支援を推進します。
- 5、環境に配慮した物品の購入を促進します。
- 6、環境関連法規制、「KORE」（コカ・コーラシステムが定める基準）及びその他の要求事項を遵守します。

## 容器リサイクル

空容器の回収とリサイクルに力を入れています。回収した容器は、自社または専門の業者によりPET・アルミニウム・スチールなど材質別に分別、再度資源として有効活用されます。



## リサイクルペット

コカ・コーラシステムでは、回収したPETボトルを再びPETボトルに再生する、ボトルtoボトル(BtoB)の導入を進めています。2020年までに、全てのPETボトルでリサイクルPETまたは植物由来原料の採用を目指しています。

## 軽量ボトル

省資源化を目指して容器の軽量化を進めています。2014年にはつぶしやすしい軽量2ℓPETボトル「ペコらくボトル」をいち早く採用。「容器包装簡素化大賞2015」の特別賞を受賞しています。

## 地球温暖化の防止に向けて

## 夏季・冬季節電

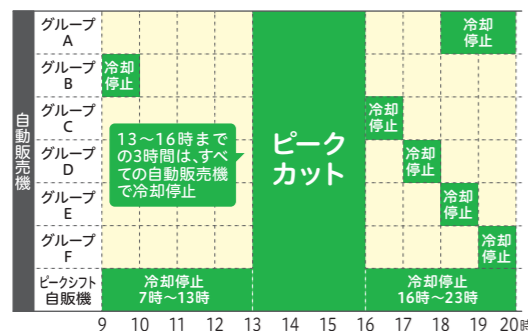
7月1日から9月30日の期間中、9〜20時までの時間帯、約5万台の自動販売機を対象に、6つのグループに分けて冷却運転を輪番で停止することにより、最大使用電力と比べ約15%の消費電力削減を実現しています。

また、冬期も冷却運転の輪番停止を通じて、自主的な電力削減に取り組みました。



## ●輪番節電チャート

9〜20時の「ピーク時間帯」に、冷却のためのコンプレッサー機能を輪番で停止することにより、15%の節電を目指します。



## ISO14001 認証取得

2010年2月、本社敷地内に所在する当社グループの各事業所で、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。

その後も組織として決定した環境行動指針のもとで、事業活動・製品およびサービスが環境に与える影響を引き続き把握・評価・是正し、継続的に改善していくことにより、省資源・省エネルギーをはじめとする環境負荷の低減に努めています。

また、廃棄物の削減・再資源化の促進、汚染の予防、そして環境保全に対する全従業員の意識向上にも積極的に取り組んでいます。



ISO14001登録証

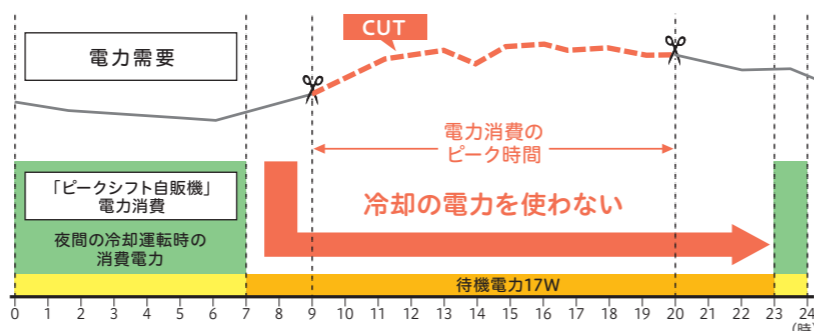
## ピークシフト自販機

「ピークシフト自販機」とは、電力使用がピークとなる時間帯に最大16時間冷却運転を停止しても、冷たい製品を販売できる超省エネ型の自動販売機です。真空断熱材の採用により保冷機能を高めることで、冷却のための電力使用を日中から夜間にシフト。電力に余裕のある夜間に冷却して、日中の消費電力を95%（※）削減します。また、冬に一部製品を加温する際も、使用するヒーターの消費電力が20%（※）少なくなり、冷却に使用する消費電力とあわせても68%（※）の電力削減ができます。

この「ピークシフト自販機」は、2013年度の「省エネ大賞」で最高賞である経済産業大臣賞を、「第10回エコプロダクツ大賞」で推進協議会特別賞（節電優秀賞）を受賞しました。当社では、2016年12月末現在で約8,000台展開し、今後も推進していきます。

※2012年度製造の同型機平均値比  
（日本コカ・コーラ調べ）

## ●時間帯別電力需要の推移と「ピークシフト自販機」の電力消費イメージ図



ピーク時間帯に加えその前後において冷却運転を停止し消費電力を削減。冷却停止時間：朝7時から夜23時  
出典：東京電力HPより2012年6月1日の電力使用実績



「ピークシフト自販機」

## 循環型社会の実現のために

## ゼロ・エミッション

札幌工場では、2000年より廃棄物の埋め立てと単純焼却処理を「掃し、すべてをリサイクルする「ゼロ・エミッション」活動に取り組み、2001年から目標を達成しています。

## ●ゼロ・エミッションの内容

リサイクル前	リサイクル後	工場廃棄物排出量 (単位: t)		
		2014年	2015年	2016年
コーヒーかす・茶かす	肥料	3,477	4,282	5,570
紙類	再生紙、ダンボール	192	174	179
プラスチック類	再生プラスチック、固形燃料	174	164	149
金属類	再生金属	58	76	85
汚泥	セメント原料、肥料	24	50	43
ガラス類	ガラスびん	0	0	0
一般廃棄物	発電、暖房燃料	9	7	12
合計		3,934	4,753	6,038